

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM12Z302	健康科学概論 (Introduction to Health Science)	基礎分野科目

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	前	金曜・4限	穴井 博文 内線：5145 E-mail：anaiana@oita-u.ac.jp 山本 恭子 内線：5106 E-mail：kyoko-yamamoto@oita-u.ac.jp

**【授業の概要・到達目標】**

医学科、看護学科の学生とともに受講する。本講義を通して、医療人としてのプロフェッショナリズムや医の倫理と生命倫理、医学の歴史や生と死をめぐる文化的な多様性、医療現場での多職種連携の重要性等を学ぶ。また、グループ討論と発表会を通して、将来、生命科学者・医工学者として自分自身が備えるべき資質について考え、生涯学習の重要性を認識する。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる					○	
2. 病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる				○		
3. 医の倫理と生命倫理に関する規範、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言などを概説できる				○		
4. 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる				○		
5. 医療が多くの専門家（保健、医療、看護、福祉、介護）の協力体制で成立していることを概説できる		○				
6. 在宅における終末期医療、看取りの在り方と課題を概説できる					○	
7. 文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる					○	
8. 生涯学習の重要性を説明できる						○
9. 将来生命科学者、医工学者として自分自身が備えるべき資質について説明でき、それを基に行動できる				○		○
10. コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる		○				

**【授業の内容】**

1	解剖学にみる中津藩蘭学とパイオニア精神—前野良沢から田原淳へ—：川島 真人 理事長、川島整形外科病院
2	人間の生老病死の四苦にどう対応するか：田畑 正久 客員教授、龍谷大学 真宗学研究所
3	医療は平等か公平か：山本恭子准教授、医学教育センター
4	病とともに生きるとは？：脇幸子教授、成人看護学
5	性感染症・無月経・卵子の老化とその後の人生：楢原 久司 特任教授、大分大学
6	医療の論理と倫理をめぐって：中野 重行 名誉教授、大分大学
7	医療人のダイバーシティ推進：松浦 恵子 教授、医学生物学
8	医療専門職として、いのちとどう向き合うか：清村 紀子 教授、基礎看護学
9	かけがえのない今を生きる —生と死の緩和ケアの現場から—：山岡 憲夫 院長、やまおか在宅クリニック
10	医療タスクとチーム医療：穴井 博文教授、先進医療科学科
11	グループ討論「医療人として今、身に付けておくべき資質とは」「医療人として男女ともにキャリアを継続するためには何が必要か」
12	全体発表会

**【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】**

A：知識の定着・確認	<input type="radio"/>	課題レポートの提出。	LMS (Moodle) の活用（事前アンケート、相互評価、レポート提出）
B：意見の表現・交換	<input type="radio"/>	グループ討論(KJ 法、二次元展開法) を行ない、その成果物を作成する。 全体発表会で発表し、相互評価を行う。	
C：応用志向	<input type="radio"/>		
D：知識の活用・創造			

**【時間外学修の内容と時間の目安】**

準備学修	事前に Moodle 上に掲載された資料で予習する (10h)。
事後学修	関連書籍（医学の歴史など）やDVDによる自己学習を行う(5h)。 講義の配布資料を読んで復習し、課題レポートを作成する(10h)。

**【教科書】** 教科書を指定しない。

**【参考書】** 医学の歴史 小川鼎三 中公新書 (ISBN4-12-100039-0)、新医学概論 森岡恭彦 編 産業図書 (ISBN4-7828-8009-X C3047)、まんが医学の歴史 茨木 保 著 医学書院 (ISBN978-4-260-00573-9)

**【成績評価方法及び評価の割合】**

評価方法	割合	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
課題レポート	60%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
グループ討論の態度	30%						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
全体発表会のプロダクト	10%						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

授業時間の3分の2以上の出席がなければ、単位は与えません。

**【注意事項】** 諸事情により各講師の講義日、講義時限あるいは担当講師、講義内容が変更になる可能性があります。講師の予定により日時・順番が変更になる場合があります。

**【備考】** 講義時間：金曜日第4限目（14：50～16：20）  
講義室：臨床大講義室で実施します。可能な限り対面で行いますが、グループ討論と発表会を含めて、オンライン授業になる可能性があります。

教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験		医師・看護師・臨床検査技師・臨床工学士として臨床経験あり
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者		医師・看護師・臨床検査技師・臨床工学士として臨床経験あり
実務経験をいかした教育内容		医師・看護師・臨床検査技師・臨床工学士として臨床や研究の経験を生かした授業を行う。
授業形態		対面